

学年踊り

対象:5歳児
作成者:池下桃代・山川可純
作成日:令和元年9月

ねらい:リズムに合わせて表現することを楽しむ中で充実感や達成感を味わう。



保育の振り返り

昨年度、年中児の際に子ども達はアート等様々な活動で、多くの音に触れ、親しんだこともあり今年度、年長児では鳴子を持って踊ります。鳴子を初めて持つ子ども達もいましたが音が鳴ることに興味を持ったり、踊りを楽しみにしていたりと楽しく取り組んでいる子ども達です。今では踊りの振りを覚え、子ども達の凛々しくかっこいい姿がたくさん見られます。(健康な心と体)

また子ども同士で立ち位置など「こっちよー」と教え合う姿も見られています。(言葉による伝え合い)

踊りのリズムのテンポを頷きながらとっている子、曲に合わせて掛け声を言うために耳をすませて「ハッ！」と声を出している子など、1日ではなかなか習得が難しい事にも回数を重ねるごとにできるようになり子ども達の自信に繋がっています。

また、踊りの中で様々な体を使った技をするところがありますが、一人一人自分の役割が分かり友達と力を合わせて取り組んでいます。(協同性)運動会当日まで鳴子の音を一つにし、楽しく表現していきたいと思います。